

事業実施報告書

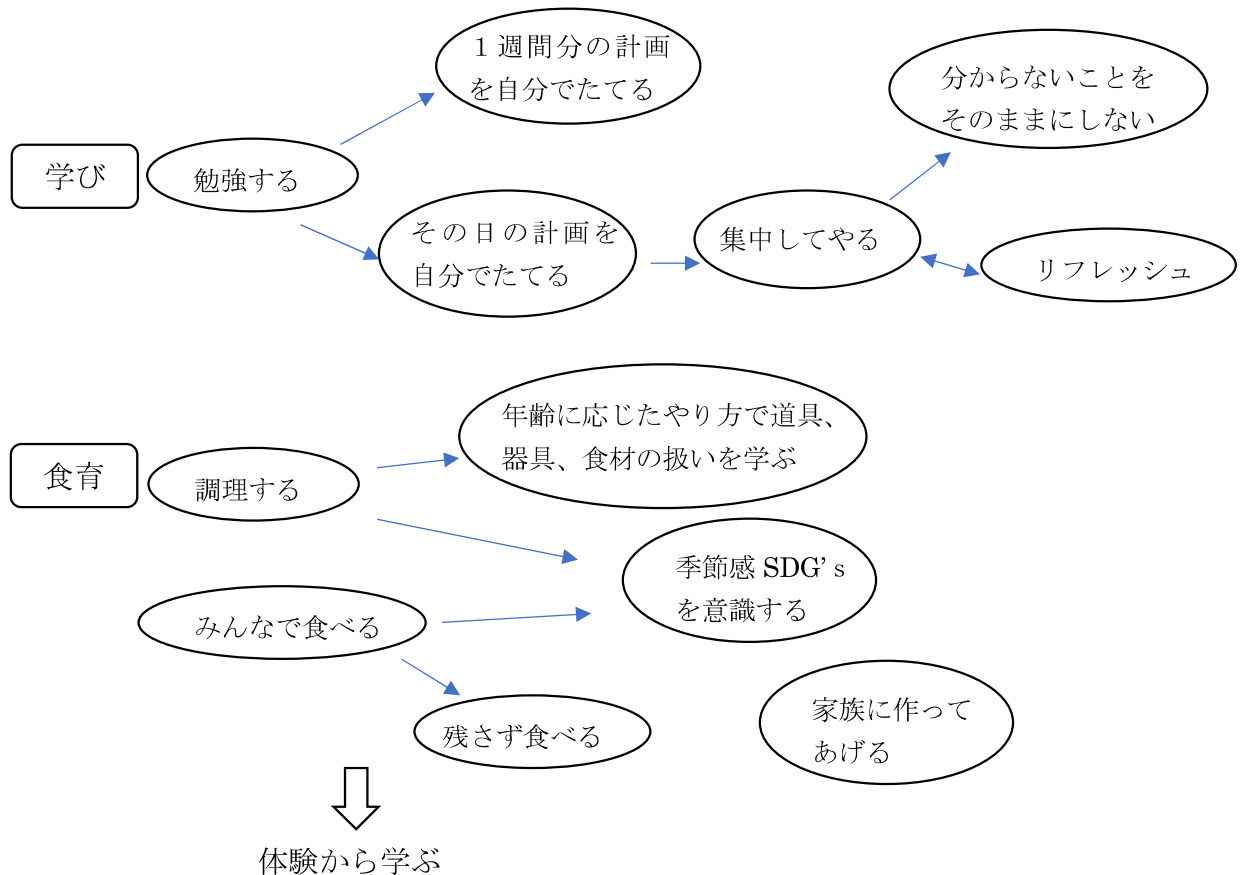
事業名 宿題持っただいど～軽食を一緒に作って食べよう&勉強会～

1 事業の目的

2020年にはじまったコロナ感染症の影響で子どもたちの学校生活は休校、分散登校などで元気に活動する機会を奪われていた。学習の遅れや食生活の乱れが心配される中、ファミリーリンク越谷が日頃からすすめる子どもたちの成長を見守る活動、「一人ひとりのチャレンジを大切に、元気に楽しく活動できること」「体験を積み重ね、活動に自信を持ち、興味を広げていくこと」「いろいろな人とのつながりから刺激し合い、継続し信頼関係が生まれること」などはコロナ禍でも継続していきたいと考えた。具体的には自宅でする学習が増えた子どもたちの学習支援と、家庭での生活、特に食生活に関心を持ってもらいたいという思いで、この活動を始めた。

2 事業内容

(1) 事業の概要



(2) 事業の流れ

日付	場所	人数	献立
6月12日 (土)	ふぁみりん 102	小学生5 スタッフ3	カレーライス、デザート他
7月21日 (水)	蒲生交流館	小学生6 幼児2 大人17 スタッフ6 ボランティア2	夏野菜の天ぷら サラダうどん、デザート他
8月18日 (水)	蒲生交流館	小学生8 幼児1 大人19 ボランティア5 スタッフ8	夏野菜カレー サラダ、デザート他
9月25日 (土)	ふぁみりん 102	小学生2 ボランティア1 スタッフ3	おにぎり、豚汁、デザート他
10月23日 (土)	ふぁみりん 102	小学生2 スタッフ3	炊き込みご飯、サラダ、デザート他
11月27日 (土)	ふぁみりん 102	小学生3 大人2 幼児3 ボランティア1 スタッフ3	コーンシチュー、デザート他
12月25日 (土)	ふぁみりん 102	小学生1 スタッフ3	グラタン、デザート他
1月15日 (土)	ふぁみりん 102	小学生4 ボランティア1 スタッフ3	カレー味炊き込みご飯、デザート他
2月19日 (土)	ふぁみりん 102	小学生1 スタッフ4	焼きそば他デザート



集中して学習しています

包丁の使い方も
上手になりました
野菜の皮は新聞紙袋にね



数字早や置きゲームで
リフレッシュ中

(3) 連携・協力機関

- ・東部よみうり新聞—新聞掲載
- ・地元の自治会、商店など—チラシ配り協力
- ・地域こども包括支援センター（フードバンク）
埼玉県福祉フードバンク—食材の協力

3 成果及び今後の展開

※団体全体の活動に及ぼした成果

- ・コロナ禍であっても、日頃から私たちがめざしている子どもの成長を見守る活動はやり方を工夫することで実施することができた。
- ・子どもたちは体験を積み重ね、勉強や調理に自信をつけることができた。
- ・食材提供などはフードバンクのほか、会員からも協力を得られた。
- ・私たちの活動を知り、賛同してくれる他団体がいた。

※今後の課題

- ・より多くの子ども達に参加してもらえる方法を探る。
- ・今後も引き続きフードバンクなどの協力を得ていく。
- ・ボランティアを増やしていく。

埼玉県令和3年度豊かな地域福祉づくり推進事業
地域福祉活動プログラム

宿題持っておいで

～軽食を一緒に作って食べよう&勉強会～



みんなで学びと食育

NPO 法人ファミリーリンク越谷

この事業の思い

「学ぶ」 それぞれの苦手科目をそのままにせず、「分かる」楽しさを体得。一人では無理なことも周りの環境、関わりによって「分かる」体験の積み重ねと「認められる」体験が大切。

「食」 ただ与えられるだけではなく、料理をする楽しさと方法の体得。家族のために作ってあげる側にもなって欲しい。好きな食べ物だけではなく嫌いな食べ物にも興味を持ち、栄養のことも学んでゆく。

「居場所」 おしゃべりができる場所、いろいろな思いを話することができる場所、ほっこりする場が必要。これには継続し信頼関係ができることが必須。年齢や学校がちがっても楽しく参加できる場所づくり。

大切にしたいこと

- ・一人ひとりのチャレンジを大切にする。
- ・いろいろな人、地域の繋がり、刺激し合う関係づくり。
- ・元気に楽しく活動する。
- ・子どもも 大人も 居場所は大切。
- ・ちょっとした努力を続けること。
- ・自分でやってみる体験。

取り組みの背景と戸惑い

新型コロナウイルスの始まりは、2019年12月1日、原因不明の肺炎を発症した日とある。

日本では2020年1月16日が最初に感染者が見つかった日とされている。その後感染が広がり、早2年。今ではオミクロン株が猛威を振るっている。

これにより生活は一変し、テレワークの推進、オンラインでの会議、休校、分散登校、ICT(情報通信技術)での授業へと進んでいる。発症から、緊急事態宣言、まん延防止重点措置等が繰り返し、発令されてきた。

私たちの活動は2021年4月開始予定だったが少し様子を見ることとした。

学校の授業は始まっても分散登校、給食は全員一方向を向き、無言で食べる。(これは今でも行われている)そのような状況の中、子どもたちの孤立化、食、勉強の遅れなどを考えて、調理方法、間仕切り、フェイスガードなどの準備、コロナ対策の工夫、さらに参加人数を押さえ、5月から取り組みの開始に踏み切った。

宿題をやりよう

自分で取り組めるかな

まずは、計画を立ててみよう



集中しています

自分で決めたことを実行することはなかなか難しいことです。
成果を確認してもらえると自信を持って進めるようです。

できたね



ふれあい・遊びを通して

勉強の合間にリフレッシュ

英語かるた

チャレンジしました



数字ゲーム

同じ数字に素早く置ける？



柔軟な頭を養うゲーム

簡単なゲームに年齢も学校も違う子ども達と一緒に
タイムを競って 真剣に取り組んでいました。

英語カルタはちょっとした挑戦

読み手はやりたい子が積極的に担当。

盛り上がって時間を延長して楽しみました。

調理体験

季節感を養う



おにぎりをつくる



切ることに挑戦



皮むきに挑戦



自分でやると楽しい

子どもたちの話から…

家では料理などのお手伝いはしない。好んで食べるのは食パンより菓子パンやハンバーガー、フライドポテト、焼きそばなどということが見えた。子どもが気軽に作れるおにぎりなども取り入れて、丸くにぎる難しさとおもしろさを味わう。

食を大切にする



自分でにぎったよ



手作りジャムだって！
おいしそう



みんなで作ることでどの子も熱心にすすんで参加する。
嫌いなものといいながら残すことはあまりなく、よく食べる。お
かわりもする。みんなで食べると楽しい。

こんだて作りと調理の考え方

子どもが参加できるメニューで
栄養面のバランスがよくて
季節感・SDGs を考えて

思いを込めたこんだてに季節の野菜や
手作り品の提供も受けて開催できた。



地球環境を守るために、皮などの生ゴミ
は新聞紙で作った袋に。油は古布で拭き
取るなどの工夫をした。

コロナ禍での手順と調理方法

手洗い・消毒・検温を徹底

器具、用具などもうまく使って



透明ガード、パーテーションなどを
手づくりしたが、食べる時はフェイ
スシールドも使いコロナをガード。
熱を加えないものは、それぞれ
自分で作り食べる。

家では、料理のお手伝いをする時間があまりない子どもたち。
ちょっと手助けすると、子どもはどんどん作業することができます。
それをゆっくり見守ることができたのと、子どもたちが興味
を持って積極的にどんどんかかわってきたことは成果。

勉強に飽きると調理コーナーに来る 1 年生。
包丁の使い方も習得し、誰一人けがをする子がいなかった。

感謝です

～補助金で揃えました～
これからも活動に生かします



〈エアコン〉

暑い夏！気温の低かった冬！
ほっこりと過ごしやすい居場所になりました



〈サーキュレーター〉

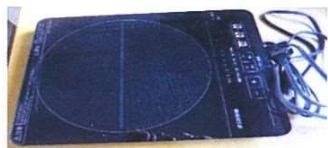


〈電子レンジと冷蔵庫〉

献立表

材料	1人当たり分	20人分
精白米	100	2kg
じゃが芋	40	900g
玉葱	30	700g
人参	15	320g
にんにく	1	30g
豚肉	30	600g
油	1	20g
ルー	0.5	1
しょうゆ	少々	15g

〈栄養士と共にこಂಡて作り〉



〈電磁調理器〉

コロナ禍で調理に頭を悩ませましたが、調理器具、電化製品で料理のはばが広がり、時短にもつながりました。

続けたいこと

毎日の生活を大切にすること。苦手から逃げずに、積み重ねていくことの大切さ。時にはチャレンジしてみることも味わいながら、いろいろな人と関わることで感じる事、知る事、思いやること等体験からそれぞれの内に取り込んでいってほしい。

お料理作っておいしく食べる。当たり前のごことに感謝して。



お料理も作ることで、器具の使い方、方法を重ねていくことで楽しさをもっと味わってほしい。

調理体験から作ってもらう側から作ってあげる側にもなってほしい。これには積み重ねと楽しさを知ることが大事。

みんなで食べたらうれしい！を体感。

また来ようかな

- ★小数点の掛け算覚えました。
- ★大きいお姉さんがいると楽しい。
- ★おうちでも野菜の即席漬け、作ってみたよ。
- ★お料理大好き。



ファミリーリンク越谷ではこんな活動もしています。

「一日子ども商店街」……今年度 12 回目(12 月 4 日開催)

子ども店長が中心の商店街。いろいろなお店とハローワーク、子ども銀行など出店の社会体験。今年度参加者約 1600 名。

「公園ぐるっとチャレンジレース」……年2回開催

誰でも楽しめる身体と頭を使ったレース。お手玉、新聞紙など身近なものを使い、思いっきり身体を動かします。

「不登校おしゃべりサロン」「ベビーマッサージ&0歳児ひろば」

「大人の百人一首」「子どもの百人一首」「大人の手作りサロン」

「物語かたり塾」(歴史大好き講談)

「夏休み宿題持っただいど＆ランチ会」「子育て相談」など

講師派遣…児童館ヒマワリ「0歳児ひろば」と「1才児ひろば」「保育」

「越谷市放課後子ども教室・月、水教室」コーディネート運営

地域のイベント参加…「こいのぼりフェスタ」「レイクタウン防災フェスタ」「エコフェス」「児童館子育てフェスタ」「読み聞かせ」

「子育て講座」他



あとがき

「自分の苦手な教科は分からないから避けてしまう。」
「親の願いに沿いたくて少し上の課題を頑張るが、息抜きもしたい」「軽食をつくることに興味を持った」「食べることが楽しみ」「異年齢、スタッフとの関わりが楽しい」など、それぞれの思いは違った。

最初は「自分から聞く」ができなかった子も、少しずつ「質問」「分からない」が言えてきた。

食についても同じで嫌いな物、苦手がある事も話せるようになった。みんなの栄養を考えて栄養士が立てていることを話すと、納得して食べ方も少し違ってきた子もいた。

様々な表情を見せる子どもたちとのやり取りは私たちの楽しみだ。

最後に私たちの活動や思いに賛同してくれる方や、応援をしてくれる方が増えてくれることを願います。詳しくは下記 QR コード、ホームページをご覧ください。

NPO 法人ファミリーリンク越谷

048-988-3677(FAX 同)・090-8343-2309

Mail:sttkq578@yahoo.co.jp

<http://familylink-koshigaya.jimdofree.com>

住所:〒343-0838 埼玉県越谷市蒲生3832-14

ふぁみりん 102: ほっこりほっこの居場所

越谷市蒲生寿町 3-24 長島荘 102

